



バイコン製法による当社製造の
コンクリート二次製品

- 本社所在地：岐阜県揖斐郡揖斐川町
- 事業概要：コンクリート二次製品の
製造・販売
- 常時使用する従業員：42名
(2026年10月時点)
- 現在の売上高：10億円
(2025年12月期)
- 法人番号：8200001015911
- Web：https://ahbo.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
岡崎 晃浩

「強い」製品で「インフラ長寿命化」に寄与し、
美しい町づくりと生活者の幸せを創造する。

当社は創業以来、社会資本整備に貢献するため、バイコン製法を用いた高強度・高耐久なコンクリート製品を提供してまいりました。インフラの老朽化や建設現場の人手不足といった社会課題に対し、私たちは現場での技術開発経験を活かし、安全かつ維持管理を軽減する独自製品を生み出してきました。今後はこれらに「低炭素」という環境価値を加え、カーボンニュートラル社会の実現とインフラ強靱化を両立させます。工場内の自動化や労働環境の改善を通じて社員の幸せを追求し、全国、さらに海外へと社会インフラ課題の解決を広げ、売上高100億円を実現します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2035年の売上高100億円達成に向け、低炭素型コンクリート製品の供給能力強化、工場内の自動化・省人化、M&Aの活用や広域展開、新領域への多角化により、非連続的な成長基盤を構築する。



課題

- ・低炭素コンクリートの本格量産に向けた混練および生産能力の不足
- ・工場内製品搬送における人的作業への依存と労働生産性の低さ
- ・工場と製品ヤード間の物流動線の非効率性および保管荷役能力の限界
- ・次世代経営人材や製造、技術、営業の中核人材の計画的な育成
- ・材料、物流費等の上昇や汎用品の価格競争による収益性低下リスク

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・設備増設等による低炭素型コンクリート製品の量産体制の構築
- ・無人リフト導入や場内通路整備による工場内物流の自動化・省人化
- ・関東・関西エリアへの販路拡大およびスペックイン型営業の強化
- ・第2工場への新設備導入による防災関連等の新製品・新市場への参入
- ・他社とのアライアンスやM&Aによる供給・販売ネットワークの構築
- ・生産性向上を原資とした大幅賃上げと働きがいのある職場環境整備

実施体制

- 社内体制
 - ・製造・開発・営業の各部門が連携した100億プロジェクトチームの発足
 - ・自動化に伴う人員の高付加価値業務への再配置と教育体制の強化
 - ・次世代リーダー育成に向けた権限委譲と採用・育成制度の整備
- 社外体制
 - ・金融機関との連携による財務モニタリングと成長資金の調達
 - ・OEM/パートナー企業や資材供給元との強固なサプライチェーンの構築
 - ・外部研修への参加や社内技術研修の継続による組織全体のスキル向上